



# 白萩

学校だより「しらはぎ」

令和5年 5月号

あきる野市立増戸中学校

編集：副校長 中山恵施

## 意識をもって

温かい日が続いた4月から、寒暖の差が激しい5月を迎えました。新入生95名が加わり全校生徒252名で今年度がはじまり、約一ヶ月が過ぎました。大型連休も終え、新入生も中学校生活に慣れ、一学期の学校生活が展開しています。

新型コロナの感染症法上の扱いが、季節性インフルエンザ並みの5類という分類になり、マスク等の扱いも個人の判断に委ねる方向で進んでいます。当分の間、毎日の健康観察を行いながら学校生活を観察してまいります。生徒は考えて生活をしています。特に熱中症に配慮し、マスクの着用については慎重に対応してまいります。互いを気遣う生徒同士の言動にも期待しています。

廊下の掲示板に「ちょこボラ」スタート！という言葉を見つけました。生徒会の発想で始まった活動です。短時間でも学校に貢献しようという気持ちが、アナログな小さな言葉にありました。ボランティアの気持ちや行動が育っています。学校では様々な活動が用意されています。諸活動で生徒の意識が変わってゆくよい機会にしたいと思います。

5月に入り能登半島では最大震度6強の、房総半島でも震度5強という地震が襲いました。震度6強は「人の体感・行動では、立っていることができず、はわないと動くことができない。屋外の状況では、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する建物が多くなる。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。」と気象庁震度階級関連解説表では記されています。“6”という数字に実感がともなわず、すぐに調べました。ニュース報道の様子とともに余震への恐怖と不安のなか、生活する方々を想像します。

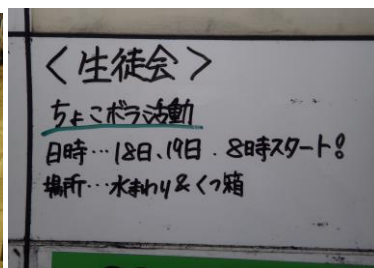
本校はショート避難訓練を実施しています。小学生時代から身に付けた行動力を一年生は、すぐに発揮することができました。今月24日には市内小中学校で、大規模地震対応訓練を実施します。今回は保護者の引き取り訓練は実施しませんが、避難と引き取りの手順を確認します。震度5強が多摩地区を襲ったという想定です。もし、大地震が発生してしまったらという意識をもって取り組みます。この機会にご家庭でも再度、大地震が発災した時の確認をしていただくようお願いいたします。

中間考査や学校公開・セーフティ教室に続き、27日の第77回体育大会に向けての準備や練習の毎日になります。コロナや熱中症対応、練習による疲労回復と健康管理に配慮して活動の充実を図りたいと思います。生徒の思いが十分発揮できるような5月の活動を

校長 木下美彦



ショート避難訓練



中間考査

を進めます。御理解・御協力のほど、よろしく御願いたします。